

流域治水課では、8月21日から8月25日までの5日間、立命館大学大学院生1名を就業体験実習生として受け入れました。環境保全や自然再生の理解を深めるため、野洲川における河口部ヨシ帯再生や瀬・淵再生の事業に関する現場での取組や現場調査などを中心とした就業体験を行いました。また、瀬田川洗堰の操作や環境に配慮した操作の説明や、現場見学など多面的な就業体験を行いました。最終日には実習成果を発表していただきました。今回の就業体験実習を通して、国土交通省の業務内容への理解をより深めていただき、さらに仕事の魅力を感じていただくことができたのではと感じています。

【実施概要】(赤文字は、現場見学、現地調査含む)

- 8/21(月): 開講式、概要説明、住民連携の取組み(水辺の匠反省会)、瀬田川洗堰の操作説明
- 8/22(火): 野洲川河口部ヨシ帯再生の取組み説明、野洲川河口部ヨシ帯調査、ヨシ帯整備後の住民連携による環境保全についての意見交換会、水質自動監視装置の仕組み、点検内容の説明
- 8/23(水): 野洲川瀬・淵再生の取組み説明、瀬・淵再生での住民連携による環境モニタリング計画についての意見交換会、淀川水質汚濁防止連絡協議会を見学
- 8/24(木): 琵琶湖生物調査(プランクトン、底生生物から琵琶湖の状態を把握)
- 8/25(金): 報告会資料とりまとめ、報告会、閉講式(懇談会)

～琵琶湖河川事務所の様々な業務を体験～



瀬田川洗堰を見学



住民連携の取組みに参加



野洲川河口部ヨシ帯調査に参加



唐橋流水質自動監視装置を見学



野洲川瀬・淵再生現場を見学



琵琶湖生物調査に参加(湖水守乗船)



報告会



閉講式(懇談会)



集合写真(事務所長・流域治水課)

【インターン生の感想】

・野洲川河口部のヨシ帯や水制工の見学、湖水守での生物調査など、現場に行く機会を多く設けていただき、非常に内容の濃い5日間になりました。また流域治水課の皆様には気さくに接していただき、誠にありがとうございました。

【事務所より】

・就業体験実習において、環境保全や自然再生について、野洲川で行っている「河口部ヨシ帯再生」や「瀬・淵再生」の現場見学を重視しました。インターン生の報告内容を聞かせていただき、事業について理解していただけたと感じています。

